

新BOP学童クラブの放課後児童システム導入について

1 主旨

新BOP学童クラブは、利用する児童が急増しており、職員が児童と向き合い、育成する機会の確保が喫緊の課題となっている。また、保護者からは、児童の入退所情報の通知、欠席や退所時間の入力・変更等の連絡方法等のICT活用についての要望が寄せられている。

そこで、新BOP学童クラブにおいて、児童の出欠や退所時間予定等の情報管理並びに保護者への情報提供、欠席・退所時間等の連絡のICT活用を図るため、放課後児童システムを導入する。

2 放課後児童システムの概要と効果

(1) システムの概要

① 入退所記録

児童は、入退所時、あらかじめ交付された2次元バーコードを貼付した連絡帳を新BOP学童クラブ設置のバーコードリーダーにかざすことで入退所記録を行う。

② 保護者メール通知

保護者は、あらかじめメールアドレスを登録しておくことで、児童の入退所時にメールを受信する。また、新BOP学童クラブからの連絡メールを受信する。

③ 欠席連絡等

保護者は、専用ポータルサイトから新BOP学童クラブあてに欠席連絡等を行う。

④ 運営管理等

新BOP学童クラブ及び所管課は、児童の入退所記録及び欠席連絡等のデータに基づき集計等を行う。(緊急時等、担当課においてリアルタイムで把握する入退所記録データを基にした支援が可能。)

(2) 対象者

新BOP学童クラブの入会承認を受けている児童及びその保護者

(3) 主な機能と導入効果

	機能	効果
児童	入退所時にバーコードをリーダーにかざして入退所時刻を記録。	
保護者	<ul style="list-style-type: none">スマートフォン等から専用ポータルサイトを利用して入退所時間変更・欠席等、利用に関する情報を連絡。保護者あてのメール受信。	<ul style="list-style-type: none">児童の入退所時間をメールで把握。電話ができない環境でも、スマートフォン等で欠席等の連絡が可能。緊急時、一斉メールで情報が受信可能。

新BOP 学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童出席状況の把握及び利用人数の集計（日別、月別）作成、各種帳票の印刷。 ・保護者への一斉メールの送信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退所・欠席情報のデータ活用による集計事務等の軽減。 ・事務軽減による、児童の育成のための時間の創出による人員確保。 ・新BOPに問い合わせすることなく、担当課で児童の出席状況を把握した対応が可能。
---------------	--	--

3 システムの留意事項

- (1) 当該システムでは児童の個人情報扱っているため、新BOP学童クラブでは専用端末から閉域網を用いることにより、セキュリティを強化した。
- (2) システム構築にあたっては、令和2年度に創設された国、都による補助制度を活用した。

4 概算経費等

(1) 令和2年度（先行15校及び児童課）

歳出	30,340,037円	
内訳・システム構築及び導入費用		29,867,200円
・事務用パソコン及びプリンター機器の賃貸借及び保守		472,837円
歳入	7,363,000円（国庫補助金、都補助金）	

(2) 令和3年度

歳出	57,148,300円	
内訳・システム構築及び導入費用（46校）		28,358,770円
・システム保守及び使用料（61校及び児童課）		22,815,210円
・事務用パソコン及びプリンター機器の賃貸借及び保守		5,974,320円

(3) 令和4年度以降

歳出	45,243,220円／年	
内訳・システム保守及び使用料		37,199,800円
・事務用パソコン及びプリンター機器の賃貸借及び保守		8,043,420円

5 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年5月 先行15校の新BOP学童クラブ利用児童保護者へ案内文書配付
6月 先行15校で運用開始
- 令和3年度中 先行15校の運用状況を確認した上で残り46校にシステム専用パソコン等の設置及びシステム操作研修を実施。
- 令和4年4月 全新BOP学童クラブ利用児童保護者へ案内文書配付
5月 全校で運用開始予定

※先行15校

弦巻小新BOP、中丸小新BOP、桜小新BOP、下北沢小新BOP、松沢小新BOP、代沢小新BOP、瀬田小新BOP、玉川小新BOP、東深沢小新BOP、喜多見小新BOP、山野小新BOP、砧南小新BOP、給田小新BOP、烏山小新BOP、千歳台小新BOP